

マグノリア グループホーム 令和7年度 第2回運営推進会議 報告書

開催日	令和7年7月16日(水)			
開催場所	グループホームマグノリア			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	利用者の家族	1名	地域包括支援センター	1名
	地域住民の代表	2名	行政(市長寿社会課)	1名
事業所出席者	施設長		グループホーム職員	3名
	グループホーム管理者			
欠席者				

開会

1. 職員配置について

(R7.7.1 現在)

管理者	1名(施設長兼任)
計画作成担当者	1名(介護職員兼任)
介護職員	12名
夜勤専門員	2名
看護職員	1名(非常勤)

2. 利用者状況

◆『グループホーム マグノリア』の現状 (R7.5/1~R7.6/30)

ユニット名	男性	女性	入院者 入退居者	現在数	平均年齢 ※1	平均介護度 ※2	特記
れもん ユニット	1名	8名	入院退所 1名 入所 1名	9名	94歳	2.2	
すみれ ユニット	1名	8名	入院退所 1名 入所 1名	9名	89.4歳	2.1	
計	2名	16名	退2・入2	18名	91.7歳	2.15	前回 92.1歳 平均介護度 2.06

※1

65歳~70歳	71歳~80歳	81歳~90歳	91歳~100歳	101歳~	平均年齢
0名	0名	9名	8名	1名	91.7歳

※2

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
5名	8名	3名	1名	1名	2.15

◆R7.5/1～R7.6/30 事故ヒヤリ報告と対応 (ヒヤリハット 45件 事故 2件)

内 容	件数	状 況
【ヒヤリハット】		
転倒	14件	<ul style="list-style-type: none"> ・同じご利用者での発生が多い。入所されてから間もない事もあり、リスクの周知の為のヒヤリハットであった。 ・一度転倒され、骨折された方のヒヤリハットもあり、身体状況の変化によるリスクにも対応していく必要がある。
転落	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・ご自身でベッドリモコンを操作される方のヒヤリハットあり。リモコンの置き場所を定める事が難しい為、お部屋に入る度に確認している。
すり落ち	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・同一のご利用者のヒヤリハット。目が見えづらいことに対するの予防策が必要。
尻もち	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・就寝薬を服用されている方。日中の過ごし方、医師や看護師と相談して薬を調整する。
利用者トラブル	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・他利用者の居室に入ってしまう。分かりやすい貼り紙や、行動範囲の把握を行う。
医療管理	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・ペースメーカー用の受信機をご本人が抜いてしまう。気にならないような場所に移動し、問題なく作動している。
喉詰り	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・食事形態が異なる物を食べてしまったり、口の中の潤いが不足、詰まりかけたことあり。お茶を飲んでから食べて頂いたり、食べ物によって大きさを変えたりと対応している。
業務ミス	3件	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙への記入漏れあり。必要な薬が飲めていないことに繋がった。手順書通りに行い、ミスを防いでいく。
紛失・物損	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・居室での行動を把握出来ていなかった。こまめに巡回し、把握していく。
表皮剥離	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・壁にネジがあった為、抜いておく。
服薬	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・合わない入れ歯をつけており、口の中に薬が残っていた。 飲み込み確認をしっかりと行う。
その他	8件	<ul style="list-style-type: none"> ・歯磨き粉を違う使い方をされるヒヤリハット2件あり、置き場所や口腔ケアの準備方法の見直しを行う。
【事故】		
転倒	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・2件とも普段、自立で歩行可能な方の転倒。

		<p>A 様：朝6時、ホールに出てくる途中で廊下にて転倒。右足に痛みあるも外傷等確認できず。車椅子に移乗しホールに案内する。朝食後、歩けなくなり、清水病院に救急搬送される。右大腿骨頸部骨折で入院となる。</p> <p>【予防策】起床時はホールまで付き添い、ふらつきに対応できるようにする。立腹時など対応が難しい時は時間を空けて声かけ、介助を行う。</p> <p>B 様：本人居室から歩いて出て来られ、「手が折れました。」と。左手首に腫れ、熱感あり。清水病院受診され左前腕骨折と診断される。</p> <p>【予防策】前日にあった右側への傾きの原因究明。傾きが強い時は付き添い、行動確認を行う。畳に靴下での生活は転倒しやすい為、フローリング改修を検討する。</p>
--	--	--

- ・
- ・
- ・ 3. 活動の状況 (R7.5/1~R7.6/30)
- ・ <毎月定例してあるもの>
- ・ ・第1水曜：運営会議 ・第1木曜：感染委員会 ・第2月曜：事故防止委員会
- ・ ・第3金曜：防災環境委員会 ・第3木曜：高齢者虐待防止、身体拘束適正化委員会
- ・ ・第1火曜：サービス向上委員会 ・毎週月曜稼働調整会議
- ・ ・月末：各ユニット会議 ・第2月曜日：グループホーム係会議
- ・ ・最終火曜日：仁厚会との医療連携カンファレンス
- ・ <ご利用者の活動>
- ・ ・おやつ作り ・カレー作り ・はあとまつり
- ・ ・ふるさと訪問(自宅外出) ・ケーキバイキング
- ・ ・誕生会
- ・ ・その他、日々の体操、レクリエーション実施。
- ・
- ・ 4. 研修等(職員)の状況(R7.5/1~R7.6/30)
- ・ ・毎月係会議で栄養士による栄養研修 ・防災ワンポイント研修
- ・ ・夜間緊急研修(シフト合同) ・緊急対応研修(医療面)
- ・ ・リスクマネジメント研修 ・介護保険とは・加算についての研修
- ・ ・食中毒予防研修(マグノリア版・法人版)
- ・
- ・ 5. その他
- ・ ・7/29(火) はあとカフェ(3施設合同)
- ・ ・8/8(金) 子ども食堂 KIDS KITCHEN はあと食堂
- ・ ・9/19(金) 希望の花プロジェクト
- ・ 今後予定している。
- ・
- ・ 意見交換
- ・ ※意見交換前にGH見学実施。
- ・ ・災害対応について。上井地区は水害リスク高いが、施設として水深がどの程度で避難可能なのか？
- 施設長より…BCPという災害対応マニュアルの義務化により、避難施設としての意味がある。しか

し、今後も BCP のバージョンアップや地域への公開など問題もあり、連携が必要である。

- ・ 前回と一緒だが、利用者の覇気がない。もっと元気に過ごせないのか？→施設長より…本人の楽しみになる活動の提供が必要。フロアとしてもっとできることはあるはず。
- ・ DS での交通事故について→施設長…施設も 65 歳以上の職員の免許センターの研修を年一回行っている。施設外の同系列職員の送迎解禁となったが、現実的ではない。
- ・ 事故は必ず起こる。ゼロになることは難しい。事故後の対応が大切。しかし、チェックリストやタスクを増やす事はお勧めしない。ミスが多くなる。単純に、わかりやすいものを取り入れる。また、介護職の離職復帰率は他の職種より格段に低く、介護人材不足に拍車をかけている。働きやすい職場作りが急務。
- ・ やっと地域に開かれた施設になってきたと感じる。これからも地域とともに歩むことの出来る施設作りを行っていく。

次回開催予定：令和 7 年 9 月 17 日（水） 13：30～14：30